

社会資本総合整備事後評価（塚間川流域浸水被害対策プラン）

長野県 岡谷市

令和2年 6月

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月21日

計画の名称	塚間川流域浸水被害対策プラン（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡谷市												
計画の目標	塚間川流域の浸水被害を軽減するため河川事業と連携して雨水幹線の整備を進め、安全・安心な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	127	A	125	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.57	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	雨水幹線の整備により、近年の集中豪雨で浸水被害を受けた面積を11.4ha（H26末）から5.9ha（H31末）に半減させる。 浸水対策効果面積（ha）＝事業後の想定浸水面積（ha） (浸水被害軽減率) = {(近年の集中豪雨により浸水被害を受けた面積) - (事業後の想定浸水面積)} / (近年の集中豪雨により浸水被害を受けた面積)(%)	11ha	8ha	6ha

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
(国土強靱化地域計画名)に基づき実施される要素事業：全て【 防災・安全交付金の整備計画にのみ記載】												

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 塚間川流域総合治水対策会議	事後評価の実施時期 平成31年度
	公表の方法 岡谷市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	河川事業と連携した雨水幹線（郷田幹線）の整備により、平成25年8月15日豪雨以降、塚間川流域における浸水被害は発生していない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	基幹事業と併せ、ハザードマップの改訂・公表をすることにより、住民の防災意識を高め、ハード、ソフト、自助を組み合わせた総合的な浸水対策を図ることができた。
特記事項（今後の方針等）	
今後も塚間川流域浸水被害対策プランに基づき、塚間川流域における浸水被害を軽減するため、河川事業と連携した雨水渠整備を実施し、住民の安全、安心な暮らしを実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	塚間川流域における浸水被害の軽減	
	最終目標値	6ha
	最終実績値	6ha